

令和7年度第2回岩手中部保健医療圏地域医療連携推進会議 会議録（要旨）

- 日 時：令和8年3月5日（木）18時～19時
- 場 所：岩手県花巻地区合同庁舎 2階 第1・2会議室（花巻市花城町1-41）
- 出席者：別添出席者名簿のとおり 40名
（委員26名、代理出席1名、オブザーバー1名、病院関係者3名、事務局9名）
- 報道機関：2名

1 開会（中村次長）

挨拶（柳原保健所長）

中部保健所の柳原でございます。当地域医療連携推進会議にご出席をいただきましてありがとうございます。

本日は今年度の第1回の当会議におきまして、了承合意いただきました取組方針のもとで、この連携会議に設置しております病院部会市町部会というのがございますが、この部会におきまして技術的事項を中心に協議いただき、了承又は合意いただいた事項について協議事項とさせていただいております。

次第にもございますとおり本日の議題は大きく2つでございます。1つ目は岩手県の保健医療計画における圏域計画の進捗状況評価等についてでございます。2つ目が地域医療構想についてということで、先ほど申し上げましたとおり当連携会議に設置してございます病院部会市町部会におきましてご協議いただき、技術的事項を中心に了承をいただいた内容について改めて議事とさせていただきます。

また、全体的な関連事項といたしまして報告事項を4つほど用意しておりますので、よろしくお願いたします。本日はどうぞよろしくお願いたします。

2 議題

本会議設置運営要領第2の2の規定により、柳原保健所長が本会の座長となり議事を進行した。

(1) 岩手県保健医療計画（2024-2029）における圏域計画の進捗状況評価等について

資料1に基づき事務局（管理福祉課長）から説明の後、次のとおり協議が行われた。

○座長（柳原保健所長）

保健医療計画の圏域計画の進捗状況評価については基本的には良い方向に進んでいるものの、よりそれを加速させるためには、一部課題になる点について充実強化していく必要があるというのが共通的な評価になるのではないかと考えております。

また、脳卒中の医療提供体制に係るモニタリング指標につきましては、心房細動対策の効果を見る

上での指標の設定についてこの2年間ほどの会及び部会でご協議いただいた結果として、2つの指標をご提案させていただき、部会においては技術的な面について了承をいただいたところです。いかがでしょうか。

○大平委員

今のまとめのところなのですが、資料1の3(1)協議内容の「ア 抗凝固療法の治療を受けている患者の割合」のところなのですが、「抗凝固療法の治療を受ける患者の割合」のみがあり、資料1-5の「ア 心房細動の治療を受けている患者数」というのが抜けたのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

○事務局

モニタリング指標の設定といたしましては、資料1-5の(1)の「抗凝固療法の治療を受けている患者数の割合」とさせていただきまして、これを算出するためのアの数値が「ア 心房細動の治療を受けている患者数」が分母になりまして、2ページ目の分子になるのが「イ 抗凝固療法の治療を受けている患者数」です。

○大平委員

すいません、ちょっと混同してしまいました。分かりました。

○座長（柳原保健所長）

岩手県保健医療計画における圏域計画の進捗状況評価について、ご承認をいただくということよろしいでしょうか。

（委員から異議なし）

(2) 地域医療構想について

資料2・3・4に基づき事務局（管理福祉課長）から説明の後、次のとおり協議が行われた。

○座長（柳原保健所長）

事務局から説明をしました。地域医療構想という医療に係る計画に関する各病院の取組を圏域全体として評価したものが、資料2-1ということになります。個別の内容については先ほど事務局からお話があったとおり資料2-2のほうにございます。

それからもう1つは、KUBOクリニックさんから提出された病床機能再編支援給付金に関する内容でございます。病床数は削減するわけでございますけれども、入院管理を必要としない外来中心の診療を一定程度充実強化していくという診療方針でございます。

戻りまして、地域医療構想の実現に向けた具体的対応方針といたしましては、部会におきまして圏域全体としての評価については了承をいただいた上で、個別の県立中部病院及び北上駅前病院の病床

の増床等について、合意いただいたところでございます。

それぞれについて、ご質問ご意見があればいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
小原委員どうぞ。

○小原享子委員

中部病院のこととお伺いしますが、結核病床を減床させて一般病床にということですか。

そこで、結核病床は現在ほとんど使われてないという認識でよろしいのかと、それからもし結核の患者さんが、2床で足りなくなった場合の対応というところでは、どのような対応方針になるのか、その点ちょっと教えていただきたいです。

○座長（柳原保健所長）

今回の結核病床の縮小削減に関する計画は、県全体の計画でございます。その中で中部病院については、このように個別の計画が進められているというものであります。

そこで、現状どうかということでございますが、現状においてこの中部圏域で結核患者さんが発生した場合には、今現状はほぼ盛岡の医療センターのほうに入院しておりますし、全県においてもほぼ盛岡の医療センターで入院するという方向になってございます。

ただ患者さんの病状といういろいろな条件によって、各圏域で診療入院される場合も当然ありますので、そうした需要について過去の動向を踏まえて一定程度の前提のもとで推定すると、この圏域には2床あればそうしたことに対応できるのではないかというのが県の方針でございます。現状は先ほど申し上げたとおりここ数年圏域で発生している結核患者さんは、まずは病床の数が多い盛岡の医療センターへ入院治療させるというのが基本になっております。よろしいでしょうか。

ほかにはいかがでしょうか。

（委員から異議なし）

よろしければ、地域医療構想に関連して、地域医療構想実現に向けた具体的対応方針及び有床診療所の具体的対応方針並びに病床機能再編支援給付金については、合意いただいたということにさせていただきます。ありがとうございます。

3 報告事項

(1) 令和8年度岩手中部地域病院群輪番制について

(2) 医療機器共同利用計画について

資料5、資料6に基づき事務局（管理福祉課長）から説明が行われた。

(3) 北上駅前病院の運営状況について

資料7に基づき北上駅前病院長から次のとおり説明が行われた。

○北上駅前病院 須藤院長

北上駅前病院の須藤です。よろしく申し上げます。

先ほど説明していただきましたので一部重複するところがありますが、また最初から説明をさせていただきます。

資料7の1ページ目をご覧くださいと思うのですが、まず回復期リハ病棟の状況であります、稼働病床30床に対して1月末の1日平均入院患者数は4.6人と低迷し、2月1日から休棟しております。

地域の急性期病院様からは継続して脳卒中及び大腿骨骨折の地域連携パスを通じてご紹介いただきましたが、転院してきた患者さんの中には病状が急変してリハビリテーションを中断し、一般病棟に転棟した患者さんも多くいらっしゃいました。

今後は、地域の急性期病院様や開業医様と引き続き連携をとらせていただきながら、一般病棟で引き続き回復期機能を担い、患者のニーズを見極めてから再開できればと考えております。

次に一般病棟ですが、稼働病床50床に対し1月末の1日平均入院患者数は39.7人、1月末現時点では在棟患者数は49人とほぼ満床でありました。一般病床は堅調な稼働ができております。2月1日から回復期リハ病棟を休棟したことにより、今後は回復期機能を担う一般病棟でリハビリテーションが必要な患者を受け入れること考慮し、許可病床200床の種別をまずは療養病床150床から10床減じて140床とし、一般病床50床を60床に変更許可いただくこととし、一般病棟60床で運営したいと考えております。

今後については患者のニーズを見極めながらとはなりますが、令和11年度までには一般病床100床、療養病床100床に変更し、当地域の回復期機能を担う病棟運営を目指していきたいと考えております。

次に慢性期機能担う医療療養病床についてですが、1月末時点においても未稼働であります。今年度内の稼働を目指してはありますが、ほかの病棟の運営を優先した職員配置を行っていることにより稼働が延び延びになっていたところ です。

一般病棟に入院されている患者さんの中には、療養病棟での療養が望ましいと考えられる患者様も多くいるほか、急性期病院様からのご紹介の中には療養病棟に適した患者様の紹介もありますので、人員体制を整え令和8年度から順次稼働してまいります。

各病棟及び外来患者数とも、令和7年度の見込みは令和4年度の計画値を大きく下回っております。計画値の回復期リハ病棟の対象となる患者の需要見込みが現状と違っているためと考えられます。

開院2年近くになり、患者動向も把握できて参りましたので、今後はそのニーズに合った病棟運営に努め、令和11年度までには病床種別の変更も行いながら、当初計画した病床稼働率とともに、外来患者数も当初計画を若干下回る程度までは、持続して増やしていきたいと思っております。

なお、令和11年度見込みの数値は、許可病床200床の種別を患者のニーズに合わせた病棟運営のため順次変更しながらの見込みとしたものです。

続きまして資料7の4ページ、人員状況についてご覧願います。

看護職、看護補助者の採用に非常に苦慮しており、様々な求人形態を通じ募集し入職していただいているところではありますが、定着率が低い状況にあります。原因としては、開院間もないこともあり、看

護組織体制などが不十分と感じて退職された方が多かったと思われます。そのことから当法人の系列病院から指導者を招き指導、助言を行っているほか、院外研修にも積極的に参加できる体制の構築に取り組み、組織体制の強化を図っているところであります。

以上です。よろしくお願いいたします。

○座長（柳原保健所長）

北上駅前病院さんから、現状報告をいただきました。ご意見ご質問いかがでしょうか。

今回の報告をお聞きし、また資料7の3ページの「2（4）計画と現状の比較及び11年度見込み」などを見ますと、回復リハビリテーション病棟対象になる患者ニーズが当初計画とは少しというか大きくかけ離れているというご説明でございましたし、今後も患者のニーズに合わせた病院病棟運営のために、病床種別を順次変更していくというお話もございました。

今年度も先ほど説明したとおり一部病床の種別の変更がございますが、仮に医療ニーズに合わせて病床の種別または機能といったものを当初計画からかけ離れた形に変更するとなれば、それは改めてこの会議において十分に検討いただく必要があるのではないかと考えております。

この北上駅前病院さんの開設からこれまでの取組状況について、これまでの経過を知っている方々も少ないと思いますので、少しお時間をいただいて開設許可の時点からのお話を少し説明させていただきたいと思います。

令和4年6月17日にこの会議におきまして、当時医療法人杏林会のイーハトーブ病院移転整備計画について了承しております。ただし、今説明あったような点が当初から課題として意見として出されておきまして、その了承する前提として当時この会議で付帯意見を出しております。読み上げます。

「今回、協議のあった医療法人杏林会イーハトーブ病院移転整備計画については、これを承認する。

なお、同法人においては、当整備計画の実現には引き続き広く地域住民・関係機関等の理解が進み、必要な意見が反映されることが極めて重要であることに鑑み、その推進に当たって、本会議での協議及び病院・市町部会意見の趣旨を踏まえた対応を誠実に実行されたい。」という意見を出しています。

その場合、今申し上げました病院・市町部会の意見っていうのは何かと言いますと、経緯は省きますが整備計画に係る意見として、次のように列挙しています。

「これまでの協議結果を踏まえた意見は次のとおりである。

- ・ 整備計画は、地域医療構想において中部圏域に不足する回復期の病床機能を中心として担う病院として整備されるものであり、地域医療連携体制充実を図る観点から、その必要性が認められること。
- ・ 整備計画を進めるに当たっては、当部会での協議の過程で多くの委員から指摘のあった病床数・機能とその運営、人員の雇用計画をはじめとして、整備計画の内容を継続的に点検し必要に応じて見直すとともに、誠実に履行することが求められること。

このため、整備計画については、その進捗状況を毎年度、地域医療連携推進会議に報告するとともに、地域関係機関に対し、一層の理解と協力を求めるため、積極的な情報提供・共有や意見を反映させる機会の確保に取り組むこと。

- ・ なお、整備計画において参考事項として記載されている病院以外の介護関連施設の整備を検討する

に当たっては、介護保険事業計画への位置付けなど関係法令に基づく所管自治体が行う所要の調整・手続きを適切に対応すること。

以上が当部会の意見であるが、当整備計画は、広く地域関係機関等の意見が反映されたものであることが要請されることから、整備計画及び部会意見については、「岩手中部保健医療圏地域医療連携推進会議において審議することが適当である」とするのが、この本会議において、工事の移転計画を了承するに当たって、十分趣旨を踏まえた対応をすることを求めた病院・市町部会の意見です。

今お話したようにこのイーハートブ病院（現在の北上駅前病院）は、中部圏域に不足する回復期の病床機能を中心とする病院として整備されるということについてこの会議として了承したものでございますから、仮にここから大きくかけ離れるような状況があった場合には、改めて現・北上駅前病院さんについては、整備計画の見直しとして承認された整備計画とそれとの検証を踏まえた上での病院としての新たな整備計画を説明いただくということも必要になるのではないかと思います。病床機能の変更なり医療機能の変更については、杏林会の方々についてはこの会議において、この部会の意見等を踏まえた上で誠実に説明いただいて、より慎重に関係機関の皆様からの意見を踏まえた形で取組を進めていただくよう要請をさせていただきたいと思います。

ほかにはご意見ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

（委員から異議なし）

北上駅前病院さんありがとうございました。

(4) 新たな地域医療構想の策定・保健医療計画の中間見直しについて

資料8に基づき医療政策室から説明が行われた。

4 その他

○小原善則委員

今日の会議に直接的には関わらないかなあと思ったりしますが、ちょっとどこでお聞きしたらいいのかなと思ったのですが、いわて中部ネットに関わってでございます。開始してしばらくになるなあと、その利用状況なりその活用状況というのは、特に高齢者の方々と対応している社会福祉協議会としては、その利用状況はどのようなものなのだろうと。医療機関が連携しながら、その患者さんの情報を共有して、何かすごく助かったよという事例も先日あったように聞きました。

私自身も後期高齢者になり、いわて中部ネットに登録をしたままになっているのですが、いろんな情報が1つの病院から管内の医療機関のほうで共有しているというのは本当に安心といたしますか、ほっとしているところです。その利用状況とか登録状況とかそのような情報をいつかの時点で提供してもらえればなあと、私どもも、宣伝なり広報する一役を担えるのかなと、思ったりしておりますから、ぜひご配慮をいただければなと思っておりました。以上です。

○座長（柳原保健所長）

ありがとうございます。

いわて中部ネットの関係におきましては、いわて中部ネットに参加または構成している関係機関団体による運営協議会といったものが定期的で開催されております。その中で情報共有は一定程度されているところです。その中には、市町の方々も参加しておられます。今日この場で具体的に各地域にどのくらいの件数が登録されていて利用状況はどうかという情報は持ち得ておりませんので、次回以降のこの会議において関係機関のご了承を得た上で、提供させていただければと思います。

○小原善則委員

よろしく申し上げます。

閉会（中村次長）